

第一中学校・中野富士見中学校 第4号

統合委員会ニュース

発行：第一中学校・中野富士見中学校統合委員会

このお知らせは、「第一中学校・中野富士見中学校統合委員会」における協議の状況などを地域の皆様にお知らせするために発行しています。

今号では、9月21日に開催された第4回統合委員会での協議の状況などについてお知らせします。

新しい学校名に多くの応募がありました — 132の校名が寄せられました —

件の応募があり、132の校名が寄せられました。応募いただいた皆様ありがとうございました。

統合委員会では、応募のあった校名をもとに、今後どのように検討していくかなどの協議を行いました。主な意見は次のとおりです。

【検討方法について】

- ・ 応募のあったものの中から、各委員が、2～3校を選び、ある程度校名を絞ってから検討を進めてはどうか。
- ・ 地名とそれ以外のものなど、校名をいくつかに分類し、検討をしていく方法もあると思う。
- ・ 応募のあった校名以外に、各委員からも校名候補があれば提出してもらい、応募のあった校名とともに検討してはどうか。
- ・ 校名を応募する時間はあったので、応募以外に校名は追加しない方がよいのではないか。
- ・ 応募のあった校名を参考に、最終的には統合委員会で校名候補を決めていくこととしているので、各委員からプラスアルファとして出してもらい、検討していてもよいのではないか。

【応募のあった校名の公表について】

- ・ 検討途中なので、現段階では応募総数などを公表すればよいと思う。
 - ・ 子どもからの応募も多く、悪ふざけで書かれたものや書いた個人が特定されかねないものもあることから、当委員会で検討し、絞り込みをかけてから公表するやり方もあるのではないか。
- ◆ 協議の結果、校名の検討については、各委員が新しい学校名として良いと思ったものを3候補以内（応募のあったもの以外に委員が考えたものがあればそれを含む）で選び、次回、その集計結果に基づき改めて協議することとしました。

なお、応募のあった校名については、子どもからの応募も多く、一定の配慮が必要との考えから現時点での公表は行わず、今後検討を進め、一定の絞り込みが行われた段階でその内容を公表していくこととしました。

前回の統合委員会ニュースで、統合新校の校名の募集を行いました。これに対し、延べ330



施設整備についての意見を取りまとめました —委員長、副委員長が教育長に意見を報告—

統合新校の校舎として使用する第一中学校の施設整備については、前回、前々回の統合委員会で出された意見を踏まえ、統合委員会としての意見を取りまとめました。これを受け、8月9日には、吉成委員長と飯原副委員長が教育委員会を訪れ、直接、菅野教育長に意見書を手渡し、教育委員会への報告を行いました。取りまとめた意見の内容は次のとおりです。



教育長(中央)に意見書を手渡す委員長(右)と副委員長(左)

統合新校開校に向けた校舎等の施設整備について

第一中学校・中野富士見中学校統合委員会では、統合を契機として、統合新校が地域の方々から選ばれ、地域の子供たちが通う活気あふれる学校となるため、どのような学校づくりを進めていくべきか、発足以来、様々な協議を重ねて参りました。

この協議の一環として、私立学校などにも引けを取らない魅力ある公立学校づくりの観点から検討を重ねた結果、下記のとおり、校舎等の施設整備に関する意見を取りまとめましたので、学校統合委員会の設置に関する要綱第3条第1項の規定に基づき、報告します。

記

1. プールの改築について

統合新校を地域から選ばれる魅力ある公立学校としていくため、施設的に問題のあるプールについては、改修工事ではなく、統合新校の開校前までに以下の内容を踏まえ、改築することが必要と考えます。

- (1) 他の区内公立中学校と同様に、6つ以上のコース設定が可能な広さに改築する。
- (2) 濡れた水着で校舎内を歩かないで済むよう、更衣室を併設する。
- (3) 周辺に高層マンションが多いことやゴミ等の投げ込みが跡を絶たないため、目隠しや投げ込み防止策を講じる必要がある。また、この防止策等の効果を高めることや公立学校として魅力ある施設整備を図る観点から、ドーム形式のプールとして整備することを望みます。

2. 環境負荷の低減を図るための校舎の整備について

屋上緑化やソーラーパネルの屋上への設置、校舎の壁面緑化など、可能な限りの方策を講じることにより、校舎内の温度の低減や自然エネルギーの活用を図るなど、環境負荷の低減に寄与できる学校づくりを進めていくことが必要と考えます。

なお、方策の実施に伴い、必要となるメンテナンスのための設備の設置や予算の配分もあわせて必要と考えます。

3. 体育館への冷暖房装置の設置について

生徒が体育や部活動で使用するだけでなく、多くの区民が利用する体育館であるとともに災害時には避難所にも利用されるため、冷暖房装置を設置することが必要と考えます。

※ 上記2でソーラーパネルの設置を行った場合には、その電力を冷暖房に使用することも考えられます。

4. 部活動活性化等のためのグラウンドの整備について

学校選択の大きな要素ともなる部活動の充実は、魅力ある学校づくりの観点から欠かせないものと考えます。このため、以下の内容を踏まえ、これから創部が期待される部活動や体育の授業に配慮した、グラウンド内の整備が必要と考えます。

- (1) 野球等が行えるよう、校庭内(校舎側を含む)のフェンス嵩上げ及び新設を行う。
- (2) 部活動や体育の授業に支障をきたさない範囲において、校庭の芝生化を検討する。

5. 教室と廊下の仕切り壁にあるガラス戸の改善について

教室と廊下の仕切り壁上部にあるガラス戸については、地震等の際、ガラスが破碎し飛散することが予想されるなど、大変危険な状態にあるため、早急に改善を図る必要があると考えます。

「統合新校に望むこと」にも多くのご意見が寄せられました

新しい校名の募集とともに行った「統合新校に望むこと」のアンケートにも、児童・生徒をはじめ、その保護者の方などから、819件ものご意見をお寄せいただきました。

ご協力いただいた皆様ありがとうございました。貴重なご意見は、今後の「新しい学校のあり方」の協議の参考とさせていただきます。主なご意見は次のとおりです。

Q：どのような学校づくりを望みますか（子どもを通わせたい学校はどのような学校ですか）？

＜小学生の保護者＞○自然環境や施設の設備が整っている学校 ○部活動の種類が多く、活発な学校

＜中学生の保護者＞○皆で協力しあい、子どもたちが楽しく過ごせる学校

○部活動数が多く、スポーツ活動が充実している学校

＜地域の方＞○自由に満ちたゆとりのある学校 ○地域に密着し、地域に開かれた学校

Q：どのような子どもに育てて欲しいですか？

＜小学生の保護者＞○相手のことを思いやれる子ども ○勉強も遊びも一生懸命できる子ども

＜中学生の保護者＞○他人を思いやり、困っている人に声をかけられる子ども

○正直で明るく素直な子ども

＜地域の方＞○たくましく、人間力のある子ども

○地域活動に積極的に参加し、地域に貢献できる子ども

Q：どのような学校に通いたいですか？

＜小学生＞○楽しく通いやすい学校 ○部活動のたくさんある学校

＜中学生＞○毎日が楽しく、学び、過ごせる学校、毎日行きたくなる学校

○きれいで設備の整った学校

Q：学校でどのようなことを学んだり、活動したりしたいですか？

＜小学生＞○スポーツ、語学、音楽などの部活動 ○さまざまな学習（生物、科学など）

＜中学生＞○基本から応用まで幅広い分野の学習 ○部活動

Q：その他、新しい学校に望むこと？

＜保護者、地域の方、小・中学生＞

○基礎学力が定着できるよう指導して欲しい、そのための指導者を充実して欲しい

○運動部を中心に部活動を盛んにして欲しい ○情報公開を徹底し、開かれた学校にして欲しい

◆ アンケートの結果や今まで統合委員会で出された意見を踏まえ、第一・中野富士見の両中学校で「統合新校のあり方について」の案を作成し、次回の統合委員会でその内容を協議することとなりました。

標準服の検討部会を設置しました

前回の統合委員会での確認に基づき、学校の統合にあたり、新たな標準服を制定することを前提に協議を進めています。

今回の統合委員会では、前回の統合委員会以降、新しい標準服の早期導入の可能性などについての検討を行うため、統合委員会の委員有志が立ち上げた自主的な勉強会の活動内容について、有志代表から報告を受けました。報告の主な内容は次のとおりです。

- ・ 地元の小・中学生や保護者、地域の方々に対し、統合新校をアピールするため、来年度から（1年前倒し）新たな標準服を導入できないかなどについて勉強会を開き検討を行った。
- ・ 来年度からの導入を図るため、スケジュールや諸条件について検討を行った結果、期間的な問

題などから、前倒しの導入は難しいとの結論に達した（統合新校発足時に導入する）。

- ・ なお、標準服の具体的な案などについても検討を行っており、検討の成果を今後の標準服の検討に生かし、なるべく早期に標準服の内容を固め、小・中学生や保護者、地域の方々への広報につなげていきたいと考えている。

◆ この報告を受け協議を行った結果、勉強会の成果を生かし、標準服の検討を円滑に進めるため、統合委員会の中に「標準服検討部会」を設置し、検討のスピードアップを図ることとなりました。標準服検討部会の検討事項や運営方法などは次のとおりです。

＜検討事項＞標準服のコンセプトについて、標準服の選定方法及び選定について、ほか

＜構成＞統合委員会委員の中から統合委員会が指定した者（13名の委員が指定されました）

＜運営＞統合委員会の運営方法に準拠（傍聴可、会議録の公開など）



軽井沢林間学園の合同実施が無事終了しました

夏休みが始まってすぐの7月23日（月）～25日（水）の2泊3日、第一中学校と中野富士見中学校の1年生が軽井沢林間学園に行ってきました。この1年生は統合新校がスタートしたときの3年生になる学年なので、今から交流活動を進めていこうという計画の一環で合同実施が行われました。当初は一緒のバスで行ってはどうかであるとか、宿舎で合同の行事を実施してはどうかなど、いろいろなアイデアも出ましたが、それぞれの学校の独自の計画もあり、今回は最小限の交流ということになりました。

1日目に両校の生徒による対面式を行いました。それぞれの学校の代表が出て、この軽井沢林間学園だけでなく、これからはいろいろな行事で、仲良く協力していきましょうという決意が発表されました。宿舎での生活は第一中学校が1階、中野富士見中学校が2階の部屋を使用するという一方で、あまり顔をあわせる機会もありませんでしたが、お互いの学校の雰囲気は感じ取っていたようでした。出身小学校が同じ生徒もいて、合同で使用した食堂や廊下では、互いに声を掛け合ったり、手を振り合ったりする和やかな様子も見られました。3日目の最終日には、それぞれの学校の退園式の後、合同で記念写真を撮影しました。軽井沢のさわやかな青空の下、約100人での記念写真は、思わず表情もゆるみ大変よい記念写真ができあがりました。



今回、2校の交流活動はよい形でスタートすることができました。これをきっかけに、2年での常葉移動教室の合同実施はもちろんのこと、多くの交流活動を計画し、生徒たちが自然な形で統合新校のスタートを切れるようにしていきたいと考えています。

第一中学校・中野富士見中学校統合委員会ニュース 第4号
編集・発行：第一中学校・中野富士見中学校統合委員会
事務局：中野区教育委員会事務局教育改革担当
TEL:03-3228-5548 FAX:03-3228-5679

※ 統合委員会の会議要録は、区役所1階区政資料センターもしくは教育委員会ホームページでご覧になれます。

＜次回開催予定＞
●標準服検討部会（第1回）
10月22日（月）
●統合委員会（第5回）
11月14日（水）
いずれも午後7時から
南中野地域センターで